

交野ヶ原(枚方・交野)には星に関する伝説や地名がいっぱい！



枚方市産業振興
キャラクター
ひこぼしくん



交野市産業PR
キャラクター
おりひめちゃん

枚方市・交野市は昔「^{かたのがはら}交野ヶ原」と呼ばれていました。平安時代に^{へいあんじだい}弘法大師^{こうぼうだいし}空海^{くうかい}が星を降^ふらせたという伝説が伝わる星田^{みょうけんぐう}妙見宮^{ひこぼし}や、彦星^{ひこぼし}と織姫^{おりひめ}が年に一度、七月七日の^{たなばた}七夕^{たなばた}の日に天の川で会う七夕伝説が有名です。「星田」「天野川」「かささぎ橋」など、星や七夕に関する地名が多く集まっている、日本でも^{めずら}珍しい場所です。

七夕ってどんな行事？なぜお願いごとを短冊でつるすの？

^{きゅうれき}旧暦^{げんざい}の七月七日^{ちゅうじゅんごろ}（現在の八月^{ほうさく}中旬^{いの}頃^お）に豊作^{ささ}を祈^{いの}って織^{ささ}った着物を捧^{ささ}げる「^{たなはた}棚機^{ふうしゅう}」という、日本にもともとあった風習^{ふうしゅう}と、中国の織姫と彦星の伝説が結びついた行事です。もともとは女性のおさいほうの^{じょうたつ}上達^{ごしき}を願うために五色^{ごしき}（青（緑）、赤、黄、白、黒（紫））の糸をお供^{そな}えしていましたが、やがて、習い事の上達などを願うものに変化し、現在ではジャンル関係なく「お願いごと」をするようになりました。



七夕の「五色の短冊」にはそれぞれの色に意味があります！

木
青・緑

思いやり

火
赤

感謝

土
黄

信頼

金
白

正義

水
黒・紫

知恵

七夕の短冊は中国の^{ごぎょうせつ}五行説^{ごぎょうせつ}という考え方に由来^{ゆらい}していて、五種類の色があります。お願いごとをする時には色の持つ意味に合わせて考えてみるのもいいかもしれませんですね。

星をテーマにした俳句をぜひ考えてみてね！